

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム親孝行
作成日 平成27年11月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「理念の共有と実践」について、入居者の変化に添った詳細な目標を立案していなかったため。	理念の意味を理解し、職員間での共有を図り、入居者にとってより良い介護に繋げていく。	職員会議等で理念についてどう捉え、どのように実践しているか話し合いを行い、職員同士意識を共有する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議において等等ホームに対し、さらに理解を深めていただく。	地域の方々と絆を深めることにより、入居者が生きいきとして生活できる環境を築く。	推進会議においてホームの行事等への積極的な参加を依頼し、一緒に活動していく。	12ヶ月
3	5	市町村との連携をさらに深めることにより、今までとは違った角度から支援を見直す必要がある。	市町村の連携強化は様々な情報源であり、有効に活用していく。	市町村主催の研修等に積極的に参加し、話し合う機会を多くし、市の職員との相互理解を深めていく。	12ヶ月
4	11	運営に対する利用者及び家族の意見がまだまだ少ないと思われる。	入居者及び家族の意見は貴重であり、その意見を反映し運営面のさらなる強化を図る。	利用者家族との会話を積極的に行い、意見を出しやすい関係を構築する。	12ヶ月
5	30	かかりつけ医の受診支援については、高齢の入居者が多くなってきたため、今まで以上主治医との関係を深めていく。	医療を必要とする状態が見られた場合、迅速な対応をしていただく。	入居者の日常生活において、ちょっとした変化等を見逃さないよう職員間で意識を共有する。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。